

2019年1月29日掲載

「新テストとムンクの叫び」

今月19日と20日に、大学入試センター試験が行われた。全国的にみると、悪天候などによる交通機関の乱れで、開始時間を繰り下げた試験会場もあったようだが、道内は比較的天候に恵まれ、大きなトラブルもなかった。受験生のみなさんの不安も少しは減じられたのではないか。

さて、そのセンター試験は来年の実施を最後に廃止となり、翌2021年からは「大学入学共通テスト（新テスト）」に切り変わる。

新テストでは、国語や数学の試験で、マークシート式に加え、記述式の問題が導入される。思考力や判断力、表現力を重視し、評価するというのがねらいという。変化の大きな時代を生き抜くために、自分で可能性を広げ、問題解決をする力が求められている、ということがその背景にある。

昨年秋から私が開催している小学生対象のキャリア教育スクールでは、さまざまな職業人の方を講師に招いている。先日はライターの方に講師を務めてもらい、ムンクの「叫び」から何が読み取れるか子どもたちに自由に書き出してもらった。「オーマイガーと叫んでいる」「太陽がなくなると思っている」「誰かに髪の毛を剃られた」など、答えがないからこそ、ユニークな意見がたくさん出た。子どもたちの発想の豊かさにこちらの視野が広がった。

子どもたちは本来、無限の可能性を秘めている。それを引き出し、育んでいくかは、私たち大人の責任も大きいのではないかと考えている。

(毎日新聞)